



飛騨っ子



令和5年1月27日 発行 NO11
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL：0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

親子のコミュニケーションは、楽しい

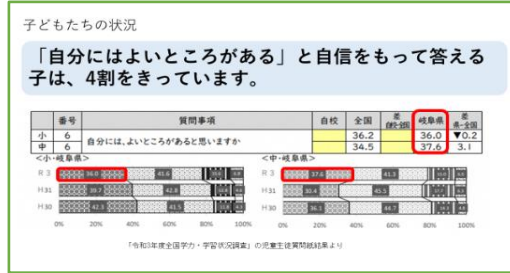


高山市立久々野中学校 話そう!語ろう!わが家の約束運動 在宅取組型 家族の大切さ

- 日時 令和4年度 夏休みと冬休み
- 主催 PTA研修委員会
- PTAスローガン 新しい生活様式の中で、
親子でできることの発見!

・親子お互いの自己肯定感を高める

スローガンに向けて、5つの「親子ふれあい活動」が位置付けられています。その中の1つに次の内容があります。



〈令和3年度全国学力学習状況調査〉の児童生徒の質問紙結果より

・親子の時間を大切にし、互いに自己肯定感を高めましょう。

『自己肯定感』の高さは、『生きるための力』です。親子で対話し、考え、チャレンジして、自己肯定感を高め、豊かな生活を送りましょう。

その通りですね! 子どもたちの自己肯定感が低いという調査結果(上記資料)がよく話題となりますが、親子の時間を大切にする事でお互いの肯定感を高めようと取り組まれていることが素晴らしい! わが子の自己肯定感を高める時間 = 保護者としての子育てで肯定感を高める時間という考え方に共感します。

・「話そう!語ろう!わが家の約束」運動 <冬休みの実践カードより>

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カード
 令和4年度 久々野中学校PTA

「家庭教育を実施する日」は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束を決めましょう。

家族みんなでご飯を食べる!

月日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7
曜日	日	月	火	水	木	金	土
振り返り	○	○	○	○	○	○	○

○家族でメッセージを交換しましょう。
 子どもから 家族へのメッセージ 家族から 子どもへのメッセージ

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カード
 令和4年度 久々野中学校PTA

「家庭教育を実施する日」は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束宣言

月食をみんなで食べ、その日あった出来事を話す。

月日	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9
曜日	火	水	木	金	土	日	月
振り返り	○	○	○	○	○	○	○

○家族でメッセージを交換しましょう。
 子どもから 家族へのメッセージ 家族から 子どもへのメッセージ

1/7はあまり時間が短く、1/8は話せたい事が多かった。
 1/8は、いろいろ話をしました。

- ・子どもから・・・みんな忙しくてなかなか集まれないけど、時間をつくってその時間を大切にしていきたい。
- ・保護者から・・・ご飯の時間に顔を合わせることで、その日にあった出来事などを話し合うことができました。これからはできるだけ時間を合わせて話す時間とっていきましょう。

- ・子どもから・・・いつもは時間がなく、詳しく話せないときが多かったけど、夕食の時間を話す場としたことで、たくさん家族と会話でき、とても楽しかった。
- ・保護者から・・・皆そろって食事することができました。いろいろな話をして楽しかったです。続けていきましょう。

へ ふなやま川柳 最優秀賞
 第十四回 ふなやま川柳 中高校生 テーマ「家族へ」
 話したい 家族みんなに 今日のこと
 高山市久々野まちづくり協議会

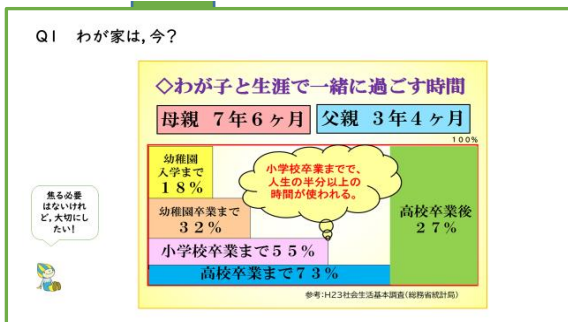
2 下呂市立竹原中学校 学校行事参加型+在宅取組型 家族の大切さ 自立心



- 日 時 令和5年1月20日(金)
- 主 催 PTA母親委員会
- テーマ 親子関係を見つめよう
- 対 象 全保護者(対面およびWeb研修)
- 講 師 家庭教育推進専門職



<① Webにて研修する学年の保護者>



子どもたちの健全な育成には、学校教育と家庭教育を重ね合わせて取り組んでいくことが大切です。そのためには、保護者自身が仕事中心となりがちな生活の中で‘わが子育てをみつめる機会’をつくり、家庭教育についての学びや保護者同士のネットワークをつくることが必要です。

1月初旬、学校と保護者の家庭教育担当者との事前打ち合わせから、研修内容は次の3つとしました。
 ①家庭教育に関する情報の視聴 ②ワークシート活用による親子関係みつめ ③在宅取組によるわが子の輝き見つけ。学んだことを保護者自身が活かせるように、各家庭(在宅)での取組に発展させたことがすばらしい!

Q4 わが子育てを見つめましょう!(正解はありません)

- 🌸 わが子への願い・・・
- 🌸 わが子育てで大切にしていること・・・
- 🌸 これからも大切にしていきたいこと・・・

コロナ禍、3つの教室に分かれて開催しました。ある学年では、4名の先生方が一緒に参加してくださいました。わが子の輝きを見つめる取組は、保護者自身の子育ての輝きを見つめる取組につながります。子どもたちの安心感と肯定感は、保護者の安心感と肯定感につながっています。

<② ワークシートの例 Q1・Q4>

<保護者の感想>

- ・コロナ禍で最近こういった機会がなく、久しぶりに講演が聞いて良かったです。子どもの年齢が上がるにつれ悩みも複雑になり「難しいな」と思うことが正直あります。今日話を聞き、子どもともう一度しっかり向き合おうと思いました。どうしてもガミガミ一方的になってしまう。子どもの話の内容は、依存から相談へと変化していくことに気がきました。短い子育ての期間、もう一度がんばりたいです。
- ・お話の中で、リフレーミングという手法を知り、見方・考え方を変えることで子どもへの思いやりの気持ちが増すことが分かり、気持ちが楽になりました。これは、わが子だけではなく自分の周り全てに関わる方に共通することだと思います。子育てについて、見つめ直すよい時間となりました。
- ・「子育ての肯定感を高めることが、子ども自身の自己肯定感を高める」。まず自分自身のがんばりを褒めることがまわりまわって子どもにへと続く・・・。すぐにも取り入れていきたいと思いました。否定的な言葉(もっと頑張れ・ダメ)も多くなってしまっていたと思います。リフレーミングしながら声をかけていこうと思います。

<③ 家庭教育プログラム みんなで子育て3(小・中学校編)>